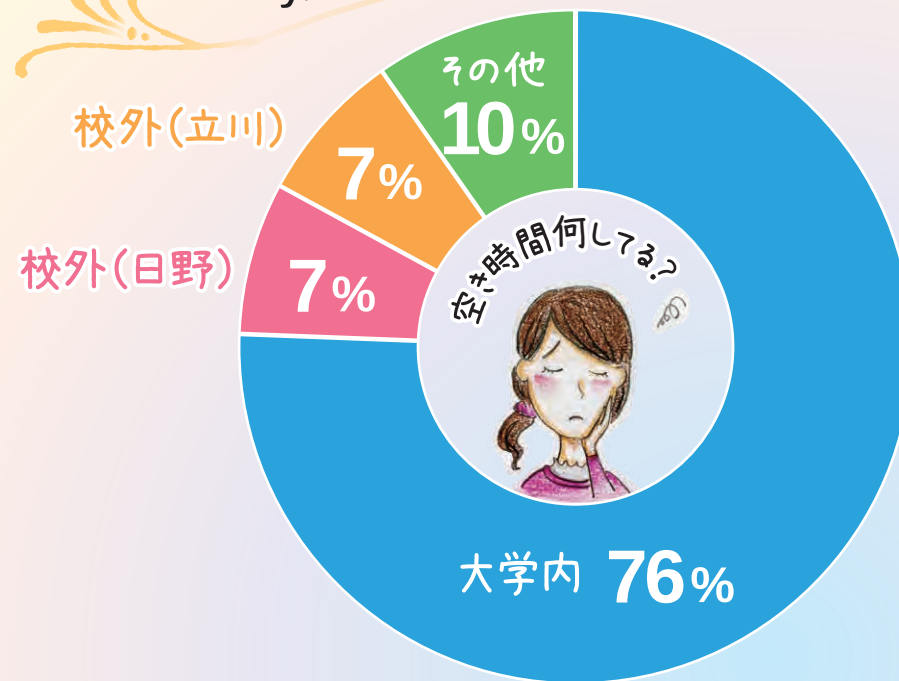




私のキャンパスを広げよう

女子大生 JD なのにオシャレな日野をしらないなんてもったいない!



現代生活学科3期生に
聞いてみました!

日野はどんなイメージですか???

- 想像していたよりも田舎
- 地味
- 何もない
- 賑わいが感じられない
- 坂が多い

...など

空き時間を大学内や立川などで過ごしていませんか?

＼ 日野の素敵なところを知り、あなた自身のオシャレな大学生活をつくりましょう!! ＼

現代生活学科の先輩方に
インタビューしてみました!

- Q1 どのように日野に関わってきましたか?
Q2 人とのつながりはどのように広がりましたか?
Q3 日野の良いところは、どのようなところですか?

日野の敏腕ディレクター



星野 有香さん(1期生)

A1 先生の紹介で、東宮下地区センターのオープンセレモニーについて関わったことをきっかけに、市役所や地域の人と関わるようになりました。そこで地域活動を紹介してもらい、活動の幅を広げていきました。

A2 まず、行動すること。活動していく中で、地域に頼れる存在ができて、日野を知り、好きになり、居心地の良い場所となりました。様々な人と話していく中で、価値観を広げることができました。

A3 あたたかい人が多く、自然があり、落ち着いた場所だから暮らしやすい。また、都心から帰ってくると安心感があるところです。

市民の人に愛されるアイドル的存在



土肥 早也香さん(2期生)

A1 先生から教えてもらい、十日町のボランティア活動を始めました。その後は、活動場所でも知り合った人からの紹介で別の活動にも参加し、今では日野の様々な地域活動に関わっています。

A2 一人でも、地域活動に参加してみる。マンションや1人暮らしだと近所づきあいがなくなる中で、地域活動に参加することで、年の離れた友人ができたように感じられ、地域での居場所を見つかけられます。

A3 市民の人が皆、コミュニティに所属しており、居場所があるところです。

地域活動を内から支える日野娘



高橋 智聖さん(2期生)

A1 せっかく日野に住んでいるから“日野”を知ろうと考え、先生や地域の方と関わっていく中で、イベントを紹介してもらい、様々な活動に参加してきました。主に地域のお祭りやコミュニティカフェの運営に携わり、そこでの活動で多くの発見を得ています。

A2 多摩の学生まちづくりコンペティションをきっかけに、地域の方へ聞き込みをしていく中で人とのつながりを広がってきました。

A3 人と人との壁がなく、地域活動に参加しやすく、住みやすいところです。

The Great Good Place

～私のサードプレイス～

サードプレイスとは?
家(ファーストプレイス)や職場・学校(セカンドプレイス)ではない、第三の居場所のことです。

＼ ワッショイ! ＼

OKTOBER FEST



学生が発案! 日野市立カワセミハウスで開催した“オクトーバーフェスト”。多摩地域最古のビール、こだわりの日野ブランド“TOYODA BEER”を楽しみ、カワセミハウスを使う様々な団体の活動PRや体験、模擬店などを行い、日野の“こだわり”をつなぐアットホームな地域イベントになりました。みなさんも、あたたかい地域の方と一緒に新しいことに挑戦してみませんか?
※2017年度 実行委員長 星野 有香さん(現代生活学科1期生)

ななお BON 祭り



『恋するフォーチュンクッキー』や『ダンシン グヒーロー』を盆踊りとして簡単な振り付けにし、みんなで楽しく踊るお祭り。子どもからご年配の方まで幅広い世代が集います。

日野台夏祭り



日野台みこし愛好会と緑ヶ丘みこし愛好会がタッグを組み、神輿を担ぎ練り歩くパワフルなお祭りで、地域を盛り上げています。

手づくり感いっぱいのお祭りです
みなさんも地元のようにあたたかく、
わくわくした空間に触れてみませんか?

このリーフレットを作成するにあたり、地域の人のあたたかさを感じることができました。皆さんもこのリーフレットをきっかけに、日野市の良さを知り、日野での生活を有意義なものにしてみてください!

J HOME とは?

地域と大学をつないで、日野キャンパスライフの充実を提案する学生ライフスタイルマガジンです。
「多摩の学生まちづくりコンペティション 2016」奨励賞受賞。

発行: 実践女子大学生生活科学部現代生活学科
地域・生活文化研究室(須賀ゼミ)
協力: 日野市企画部
問い合わせ: gensei@jissen.ac.jp

★このリーフレットの情報は、2018年2月現在のものです。